

事業名	ふるさとまなび～隊開催事業
-----	---------------

総事業費	46 千円
------	-------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	青少年の健全育成

## ② 実施 (Do)

事業の意図	様々な体験活動を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養う	
事業の実績と成果	取組内容	市内の小学3年生～6年生の児童を対象に、募集定員を30名とし年8回計画。（※募集定員については、回に応じて変動あり。） 第1回仲間を作ってゲームをしよう（レクリエーション）、第2回種子島の民話を知ろう、第3回宿泊学習、第4回力ヌー・いかだ体験、第5回旬の食材を使った料理作り、第6回ナイトミュージアム、第7回現和校区探検ツアー、第8回黒糖を作ろう！（親子体験）
	成果	全8回無事に、事故等無く終えることができた。また、参加した児童の満足度も100%と良かったと思う。各回において、これまで参加してきた児童のみならず、活動に興味を持った児童（まなび～隊初参加の児童）がいたので、子どもたちの興味を引く企画ができたと思う。また、他校の児童同士で友達になっている様子も見られ、日頃できないような体験活動の機会を提供することが出来た。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題（事業担当者記入）	令和6年度は、令和5年度比較して定員に満たない回が少し多かったように感じる。各回での新規参加者を得ることは出来ているが、思うように参加者が伸びなかった。その要因としては、長期休業を挟んだ活動募集や大多数の児童が興味を引くような活動を計画できなかったことが考えられる。今後は、多くの児童が応募する活動も一定数残しつつ、同じ活動ばかりにならないように、子どもたちのニーズと事業の醍醐味である「ふるさとまなび」を両立できるような活動の企画に努めたい。
評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入）	・当初予定していた8回の活動を事故なく実施することが出来た。 ・令和5年度から募集定員をコロナ禍前の30名に戻したが、定数に満たない事業も見られた。内容や募集の方法を精査する必要があると考える。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	昨年度の反省点を踏まえて、令和7年度も事故等が無いように実施したい。活動毎に募集を行うため、活動によっては参加者が定員を満たさないことがあるが、単に子どもたちに人気のものばかり実施するのではなく、あらゆることに興味をもってもらう機会の提供に努めたい。「まなび～隊での“まなび”」と「子どもたちの興味・感心」のバランスを調整しながら取り組みたい。
------------	--

### 【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	<p>【第5回 旬の食材を使った料理作り】 第5回は、食生活改善推進員の榎本和枝さんと落合ミチヨさんを講師に迎え、サツマイモとキビナゴを使った料理作りをしました。各班で鶏肉とからいもの甘酢あんかけ、キビナゴのチリソース、からいものバター煮を作り、別で作っていたからいもごはんとお味噌汁と併せて試食会もすることができました。子どもたちからは、「はじめて包丁で食材を切れてよかった」、「家でも作ってみたい」などの声を聞くことができました。</p>



**【第7回 現和校区探検ツアー】**

第7回は、西之表市立図書館の小山田一郎館長を講師に迎え、現和校区の史跡等を巡る校区探検ツアーをしました。探検のしおりに基に、近政～川氏～現和小学校周辺～風本神社の順にバスで巡り、現和校区の歴史を知ることができました。最後には、現和校区検定クイズを実施して、活動の振り返りを行うことができました。子どもたちからは、「今まではあまり知らなかったけど、現和校区のことを知ることができた」、「勉強で話を聞くだけではなく、実際に見ることで楽しく勉強できた」などの声を聞くことができました。



**【第8回 黒糖を作ろう！（親子体験）】**

第8回は、昨年度に引き続き黒糖作り体験をしました。今回は、親子体験として10組限定で募集を行い、当日は9組（欠席1組）の参加がありました。初めの方は、実際に畑でさとうきびの収穫体験を行い、その後は安納活性化センターで黒糖作りをしました。途中、沖ヶ浜田の黒糖作りをする小屋を実際に案内してもらうなど、貴重な体験をすることができました。参加した方からは、「さとうきびを収穫することが、こんなに大変だとは思わなかった」、「親子で体験できて良かった」、「つまみぐいした固まる前の餡状の黒糖が美味しかった」などの声を聞くことができました。

事業名	長浜市少年スポーツ交流事業
-----	---------------

総事業費	266 千円
------	--------

### ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	青少年の健全育成

### ② 実施 (Do)

事業の意図	両市のスポーツ交流を通じて信頼と友情を築き、青少年が豊かな心身を育むことができる	
事業の実績 と成果	取組内容	本市にて交流事業を開催した。
	成果	団員8名、役員5名が来島され、様々な行程を通して交流を深めることができた。

### ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	時代に合わせて交流事業内容等の検討を行い、友好都市交流が今後も未永く続くよう努める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none"><li>・青少年の健全育成には体験型活動が有意義だと考える。当事業は友好都市をきっかけにこれまで長い交流の歴史があり、お互いの異年も齢集団が、お互いの異文化等にふれることで、貴重な体験を通しながら親交を深めてきている。</li><li>・年々参加者が少なくなってきたため、事業内容の見直しを考える時期に来ているのではないかとと思われる。</li></ul>

### ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	本年度は長浜市へ団員を派遣し、交流を行う。
------------	-----------------------